発行日　2024年10月30日

環境経営レポート

【レポートの対象期間：2023年10月～2024年9月】

株式会社八山鉄工所

≪目次≫

1.環境経営方針　P-1

2.　事業活動の規模　P-2

3.　EA21推進体制　P-3

4.　環境経営目標とその実績　P-4

5.　環境活動の取組計画と評価　P-5

6.　環境関連法規制の遵守　P-6

7.　代表者による全体の評価と見直し・指示　P-6

１．環境経営方針

〔基本理念〕

株式会社八山鉄工所は、企業活動の主体である金属部品の機械加工を通じて
常に環境に配慮した事業活動に努めます。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

１．当社の主力事業である、レーザー加工から、組み上げ、塗装までの各領域において、
技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、
循環型社会の実現に努めます。

①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・使用化石燃料削減・廃棄物の
単純焼却の削減に努めます。

②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再使用の向上に努めます。

③限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。

２．環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境経営目標・環境経営計画を策定し
取組みます。策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。

３．事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。

４．環境経営方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に
関する意識の向上を図ります。

５．環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを
図ります。

改定日　　2019年　10月　1日

株式会社　八山鉄工所
代表取締役
八山　亜紀夫

２．事業活動の規模

1．事業所及び代表者名

株式会社八山鉄工所
代表取締役社長　八山亜紀夫

2．所在地

〒370-0504　群馬県邑楽郡千代田町舞木1403-1

3．環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者　　：　代表取締役社長　　八山亜紀夫
環境管理責任者　：　代表取締役社長　　八山亜紀夫
担当　　：　ＥＡ２１事務局　　八山亜紀夫
TEL　：　0276-86-3239
FAX　：　0276-86-5081

4．対象範囲

株式会社八山鉄工所　全組織及び全活動

5．事業の内容

産業用機械部品の製造

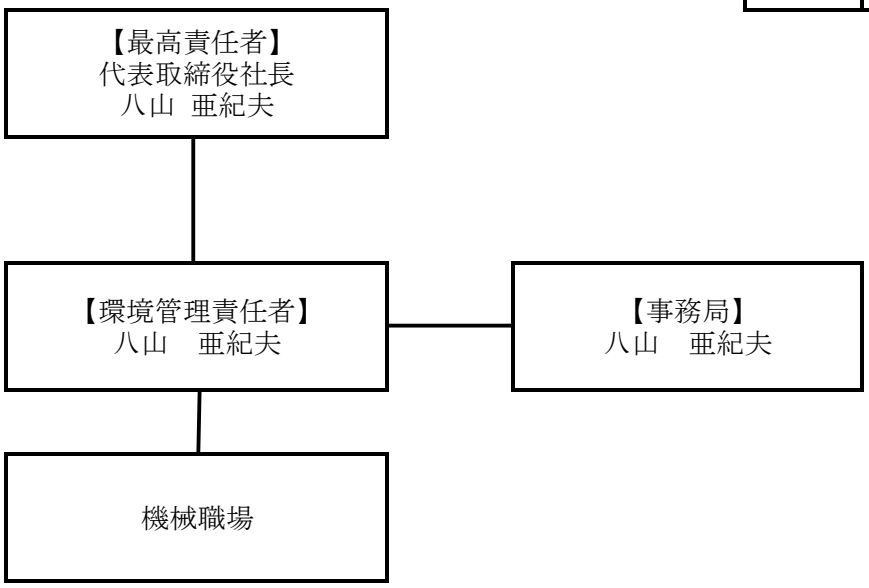
6．事業規模

活動規模	単位	2022年度	2023年度
売上高	百万円	48,12	36,00
従業員数	人	5	5
延べ床面積	㎡	1,247	1,247

エコアクション２１　推進組織図

（2020年　4月15日　作成）

承認	作成
八 山	八 山 亜



職名	役割
最高責任者	【代表取締役　八山　亜紀夫】 ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用･維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境経営方針を制定する。 ④エコアクション21の構築･運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	【八山　亜紀夫】 ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的･効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築･運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	【八山　亜紀夫】 ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。

４．環境目標とその実績

1．環境目標とその実績

＊購入電力の排出係数は、0.462〔H29年度実績・H30年12日27日公表〕を使用しています。

＊2023年の実績値は、2023年10月～2024年9月の12ヶ月のデータです。

環境目標	基準値	今年度目標				中長期目標	
	2022年度	2023年度				2024年度	2025年度
	実績	目標	目標値	実績	達成状況	目標	目標
①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO_2/百万円)	692	2022年実績対比1%減	685.08	815.30	実績に対して18%増加した	2023年度実績対比1%減	2024年度実績対比1%減
②一般廃棄物の廃棄物排出量の削減(kg)	127.5	現状維持	126.200	128.00	実績に対して0.4%増加した	現状維持	現状維持
③売上高100万円当たりの水資源投入量の削減(㎥)	2.2	2022年実績対比1%減	2.181	2.92	実績に対して33%増加した	2023年度実績対比1%減	2024年度実績対比1%減
④化学物質取扱及び管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底
・材料歩留率 ①ロックボード	―	―	―	―	―	―	―
②スクラップ	74.5%(34309-8760)/34309×100	2022年実績対比1%増	74.5%	64.30%	実績に対して13.7%減少した	2023年度実績対比1%増	2024年度実績対比1%増

①ロックボードは2023年度は購入が有りましたが次年度から支給になる為評価はしない

②スクラップの材料歩留率（ 購入材料-スクラップ量）/購入材料×100%）はスクラップ排出期間に合わせて算定した。

2.主な環境負荷実績

環境への負荷	2022年	2023年
①二酸化炭素排出量(kg-CO_2)	33,296.70	29,351.97
②一般廃棄物排出量(t)	0.1275	0.128
③水資源投入量(㎥)	106	105

５．環境活動計画の取組みと評価

＊2023年10月～2024年9月の活動の取組みと評価をしております。

環境活動計画	環境活動計画の取組結果とその評価
1．二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のＯＦＦの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備	・目標は達成出来なかった。前回に続き要因は売り上げが落ちた為にトータル減率が増加してしまった。軽油使用量の増加の要因は、納品の回数自体は余り変わらなかったが増加した。電力・ガソリン・灯油は売り上げに準じて削減出来たものの、小物が多く納品頻度は余り変わらなかった。
	次年度の取組内容
	不要時の消灯、エコドライブを継続して進めていく。塗装工程の灯油の消費量を抑える様小物単品の塗装の効率化を考慮して工程の見直しをしていく。
2．廃棄物排出量の削減 ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④裏紙使用ルールの徹底	引き続き分別のルールに従い、裏紙の使用の実践、無駄なコピーもしないようにしている。
	次年度の取組内容
	活動計画書に従い引き続き実践していく
3．水資源投入量の削減 ①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③トイレの節水	手洗い時、洗車時の節水に努力している 毎月、漏水の確認をするようにした。
	次年度の取組内容
	活動計画に従い、節水活動を進めていく
5．化学物質取扱及び管理の徹底 ①取扱商品（化学物質含有）の把握 ②購入量の把握 ③SDSの入手 ④取扱商品一覧表の作成 ⑤管理手順の策定	化学物質が含まれているであろう溶剤等のSDSを入手して化学物質含有について調査・把握をした。 SDSに基づいて、管理している
	次年度の取組内容
	新規の溶剤等を使用する際は必ずSDSを入手して化学物質の含有について確認する。
6．本業に関する目標 ・材料歩留まり率の改善 ①ロックボード ②スクラップ	①ロックボードは2023年度は購入はあったが次年度から支給になる為評価はしない
	②今回は新規の仕事が短納期で入り歩留まりの組合せが出来なかった為に歩留まり率が悪くなってしまった
	次年度の取組内容
	数値目標を達成するように努力する。

６．環境関連法規制の遵守

1．当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
騒音規制法	特定施設の届出	遵法
振動規制法	特定施設の届出	遵法
浄化槽法	保守点検実施、法定検査実施	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、マニフェスト交付・保存及び交付状況報告	遵法

2．環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への

違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

７．代表者による全体の評価と見直し

環境目標は、売り上げが落ちたのに比例して、今回達成出来なかった。二酸化炭素排出量、水使用量、廃棄物排出量、歩留率を引き続き次年度に目標達成出来る様に努力して、もっと組織に定着するように進めていく事が大切です。目標に揚げていない項目も、引き続き環境に配慮して事業活動を推進していく。